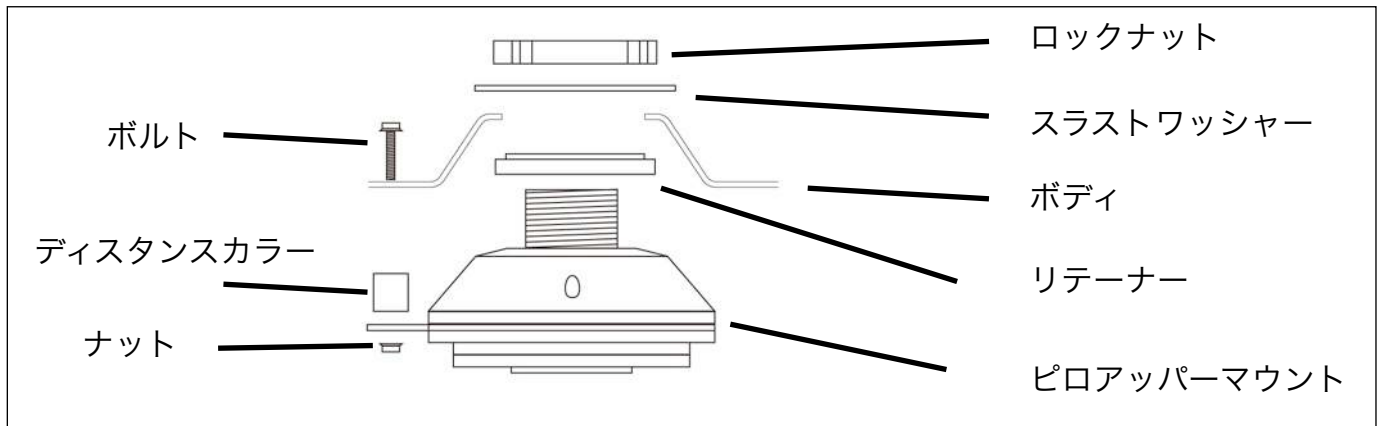


本製品は、アッパーマウントがピストンロッドと共締めすることにより固定する構造のHA36S用に開発されたキャンバー調整式ピロアッパーマウントです。

(取り付けには車高調整式サスペンションが必要です。純正品には装着できません。)

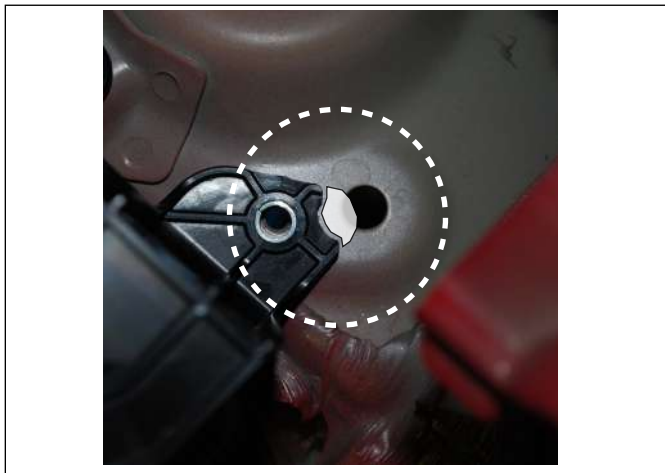
別紙ピロアッパーマウント取扱説明書とともに本書を良くお読みになり理解された上で使用ください。

## 装着方法



車高調整式サスペンションとの組み合わせはショックアブソーバーの先端形状やスプリングシートの形状により様々な手法が考えられます。組み合わせるパーツを良く観察し不具合が発生しないよう組み合わせてください。

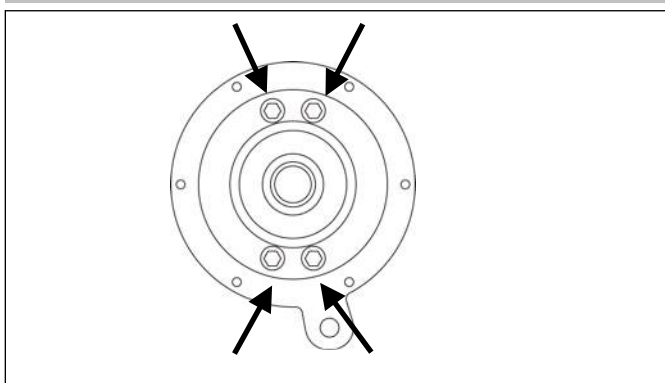
## 左側ピロアッパー取り付けについて



左側ピロアッパーマウントの取り付けにあたりエンジンコントロールコンピューターのブラケットとフランジボルトが干渉するため一部加工が必要です。

※左図参照

## キャンバー調整方法



ピロアッパーマウント本体下面のボルトを緩めます。

※左図矢印

任意の位置までスライドさせてボルトを締めます。

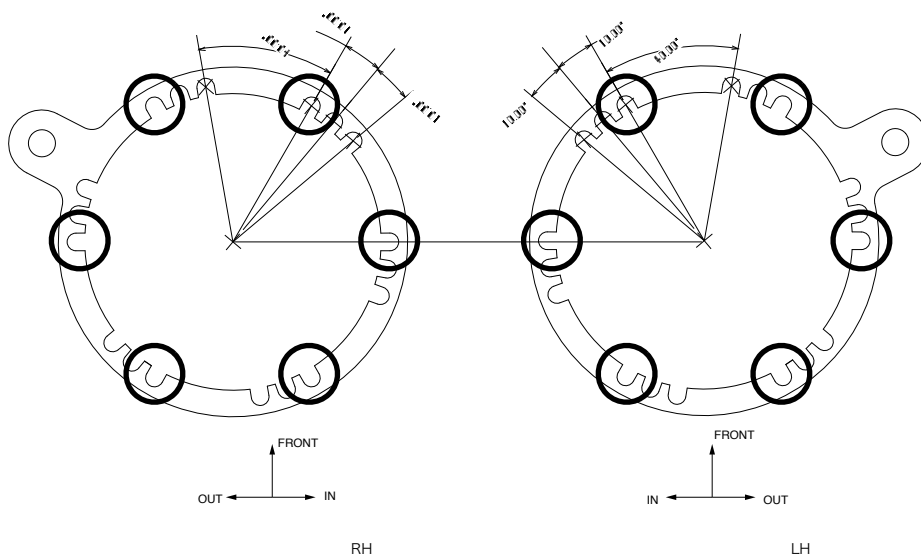
## 注意

※.アッパーマウントの調整をする事により、キャンバー角が変更されるとともにステアリング操作時にショックアブソーバーが回転運動する軌跡が変わります。

サスペンション側のパーツ、特にブレーキラインと車体側の干渉があると重大な事故につながる場合がありますので、いかなる状況でも干渉等が無いように各部の確認と必要に応じて部品等の移動を含めた対策を講じてから使用してください。

## Tips

HA36S 下から見た図



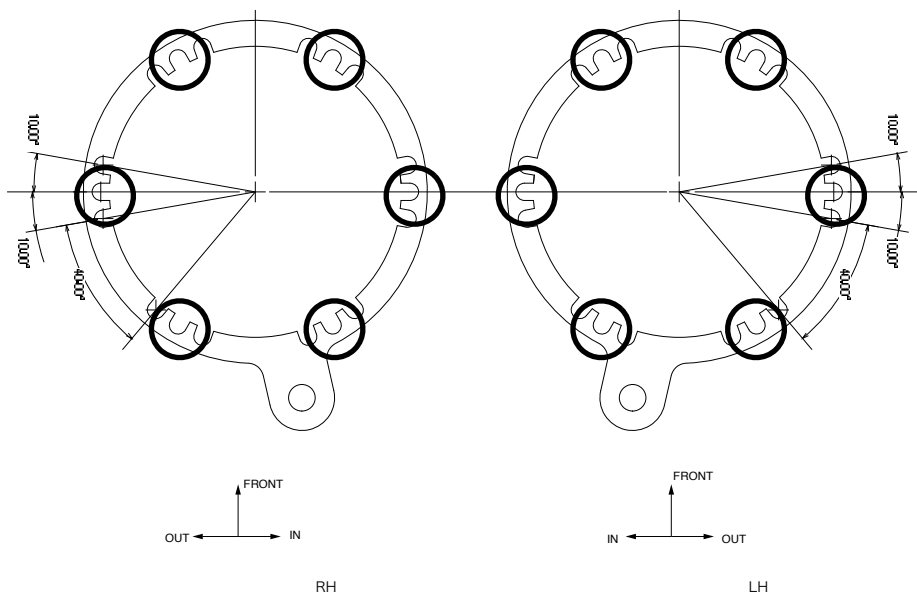
ピロアッパー本体は分解、再組み立てにより標準以外の機能を持たせることが可能です。

キャンバー調整方向を左下段の画像の矢印の様に置いた時に左上段の図の○で囲んだ穴の位置が固定プレートの標準位置です。

固定プレートの向きを組み換えることによりキャンバーとともにキャストの調整をすることが可能になります。60°位相で10°間隔の3穴を設置しています。キャスト調整の必要があったと感じた場合は適時調整して下さい。

## MH34Sに使用される場合

MH34S 下から見た図



ピロアッパー本体を分解し固定プレートの向きをHA36SのTips及び左図を参考に組み換えて下さい。

キャスト調整の必要があったと感じた場合はHA36S同様適時調整して下さい。